

Nursery school



写真上 遊戯室内に設けた横断歩道で練習をする長谷川さん（左）と佐藤さん（右）
写真下 「どっち見るんだっけ」と、子どもたちと同じ目線の高さで交通ルールを指導する古河さん

みんなで学ぼう交通ルール

クロネコヤマト交通教室は6月27日、町内の3保育所で実施されました。

この教室は、子どものうちから安全教育を徹底していくためにヤマト運輸(株)が毎年開催しているもの。この日は会津地区の各営業所の安全委員など12人が3班編成で各保育所を訪問しました。

猪苗代保育所で指導に当たった古河雄二さん(磐梯高原センター)ら4人は、車の周りで遊ぶことや車の下に入る危険性を人形などを使って説明。2人1組になった園児らに、横断歩道を渡る際の注意点などを指導しました。

実際に横断歩道を歩く練習に挑戦したさくらA組の長谷川楓さんと佐藤靖華さんは、「練習をして、左右を見ることがや手を上げることなど道路の渡り方がわかりました。道路を歩くときは気をつけるようにします」と元気に答えました。

Elementary school



写真上 プランターを持って役場を訪れた(左から)小椋たけ子教諭と児童会の江尻さん、佐藤さん
写真下 町役場に届けられた花は、正面玄関で来庁者の目を楽しませていきます

日頃の感謝の気持ちを込めて

長瀬小学校児童会の代表委員らは6月7日、花を植えたプランターを、町内の各施設に配りました。この活動は、町内の美化と児童たちの地域への感謝を表す行動として、毎年実施されてきたものです。

配布は4年生から6年生までの児童会代表委員6人が、3班2人ずつに分かれて実施。町役場、いなわしろホーム、郵便局や駅など10カ所以上にプランターを配りました。

児童会担当の栗田幸子教諭は「児童会の子どもたちは自主的に活動することが好き。皆さんに喜んでほしいと自分たちで配布先を決め、電話をして、届けに行く。そういうところが素晴らしいと思います」と児童たちの活動をたたえました。

児童会の代表委員の江尻由羅さん(6年)と佐藤美澄さん(同)は「自分たちが植えた花で町がきれいになればうれしい」と話しました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 全校生を代表し、津金町長に浄財を手渡す大川原生徒会長(左から2人目)、武藤委員長(同4人目)ら5人の生徒代表
写真下 猪苗代の善意が詰まった義援金の一部

被災者へ届け猪高生の善意

猪苗代高校の生徒会とJRC委員会による日本赤十字社への義援金贈呈式は5月30日、町役場で執り行われました。

この日は生徒会の大川原伸幸生徒会長、JRC委員会の武藤美侑委員長らの生徒代表5人と荒井一成校長、豊澤徹也教諭が町役場を訪れ、義援金を集めるに至った経緯などを説明。全校生徒211人の思いが詰まった浄財33,534円が日赤会津地区猪苗代町分区分の区長である津金町長に手渡されました。

津金町長は「生徒の皆さんのコツコツと積み重ねた努力の結晶、温かい気持ちが被災者の皆さんに伝わるように、必ず届けます。その心を忘れずに、立派な社会人になってください」とお礼の言葉を述べました。

浄財は日本赤十字社を通じて被災者支援のために使われます。



写真上 猪苗代小学校5年生の中村さん(中央)に補助教材を手渡す鹿目専務(左)と見守る久米本校長(右)
写真下 町内の5年生に配布された補助教材「農業とわたしたちの暮らし」

6小学校に農業教材を寄贈

町内6小学校の5年生への補助教材贈呈式は6月1日、町役場で執り行われ「農業とわたしたちの暮らし」「とびだせ未来へ!みんなの大地・森・海のめぐみ」などの補助教材230冊が寄贈されました。

寄贈は、農業啓発活動の一環として20年度から補助教材を提供しているJAあいづの取り組みによるもので、式には鹿目光一代表専務理事、鈴木壽彦営農企画課長、営農企画課の岩淵典子さんら3人が出席しました。

鹿目専務は「この教材を利用して、農業の大切さ、食べ物大切さを学んでほしい」と猪苗代小学校5年生の中村輝さんと久米本哲夫校長に教材を手渡しました。

教材を受け取った中村さんは「ありがとうございます。この教材でしっかり勉強します」とお礼の言葉を述べました。